

「神越溪谷もみじ谷プロジェクト」本格的にスタート！

事業の趣旨を書いた看板を3カ所設置しました。(内藤剛さん、内藤晴徳さん了解)

◇ 第1回もみじ谷整備作業を5月8日(土)9:00~12:00実施

- ・ 当日は田植え時にもかかわらず、多数の参加があり、山の中立内藤剛さん、内藤晴徳さんも出ていただき、作業予定地の境界の確認を行うことができました。
- ・ 当初、本年度の整備予定地は「十二釜—正式には拾貳釜」でしたが、十二釜より下流の所有者が確認できず、今後確認ができ次第計画に入れていくことにしました。
- ・ そこで、平成23年度整備予定であった内藤金三碑周辺(内藤剛さん所有)の整備許可を内藤剛さん立ち会いのもとにいただきましたので、一部下刈り、杉、檜の間伐を行いました。大きな岩とヤブツバキの林、スケールの大きな淵と滝が魅力的です。
- ・ この辺りは貴重な植物も多く、現状を維持しながら道下の見通しがよくなるようツルの巻いた箇所を刈り払いを上流に向けて今後行っていきたいと考えています。
- ・ 当日のボランティア(敬称略)
矢澤長介、宮條 喬、松本 剛、水野一盛、小木曾誠、藤澤卓美、藤澤和子、角藤内藤 剛、内藤晴徳

◇ 「道庵坊主の滝」(どうあんぼうずの滝)と命名

- ・ 今回整備した所には、ご存知のように岩盤をながれる大きな滝と淵(神越溪谷1・2の滝)があります。ここは、かつては山の中立の子どもたちの水泳場となっていて、昔からこのあたりを「道庵坊主」と呼んでいたそうです。内藤剛さんから中立の歴史を記した「探究」(内藤勝美著)をお借りして拝見すると、山ノ中立は南朝のお姫様が7~8人の従者と隠れ住んだ所で、この家臣に「道庵」という坊主がおり、その墓が谷の山頂付近にあるということです。

こうしたいわれがありますので、今後はこの滝を「道庵坊主の滝」と呼んだらどうかと思います。(紹介看板を付けます)

このように、神越溪谷の小さな滝や淵、あるいは石に名前が付いていたり、古くからのいわれがあったら、教えてください。(たとえば、十二釜では、山ノ中立と御内本郷の人たちが「雨乞い」をやっていたなど—内藤剛さんから聞く)

◇ 市の「わくわく事業」に「もみじ谷プロジェクト」を応募

- ・ 市で行っています「わくわく事業」に応募しました。今後、審査(5/23)がありますが、みずきの里づくり推進委員会で計画している「神越溪谷もみじ谷プロジェクト」が、将来、豊田市の大きな地域振興事業に成長することを夢見ています。
- ・ それに関連して、委員長(藤澤)が地域会議のメンバーになりわくわく事業の審査をする立場になり、この事業の直接の代表になれませんので、推進委員会の中に「もみじ谷部会」を設置して行うよう申請しました。部会の代表を水野一盛さん、副部会長を宮條喬さんが引き受けていただきました。もちろん仕事は全員で行っていきます。

5/10(月) 予備審査 5/18(火) 事前審査 5/23(日) 本審査

◇ 次回の作業日6/10(木)9:00~12:00

- ・ 集合 大城堰堤上(広いところ) 9:00
- ・ 大城堰堤上流の道下の刈り払いを行います。下刈り鎌、一本はしご、下刈り機準備

◇ 今後の予定 ボランティアの参加をお願いします。

作業日	場所	内容
6 / 10 (木)	大城堰堤上	渓谷のつるきり、保護樹看板付け
7 / 8 (木)	大城堰堤上	渓谷のつるきり、保護樹看板付け
8 / 26 (木)	大城堰堤下	渓谷のつるきり、保護樹看板付け
9 / 26 (木)	道庵坊主周辺	第2回全体作業 下刈り、除間伐、片づけ
10 / 9 (土)	道庵坊主周辺	第3回全体作業 下刈り、歩道整備等
10 / 10 (日)	道庵坊主周辺	第4回全体作業 看板付け等

◇ 今後つくっていく予定の看板の例（内容については意見を下さい）

1 案内看板 3枚

<h2 style="margin: 0;">神越溪谷もみじ谷プロジェクト</h2> <p style="margin: 0;">みずきの里づくり推進委員会・御内・大見自治区</p>

2 名勝案内看板 水神淵、鴛淵など、名前が残っている淵や滝の看板を考えています。

3 名勝紹介看板

(1) 名勝「道庵坊主」紹介看板（案）

<h3 style="margin: 0;">神越溪谷の名勝「道庵坊主の滝」</h3> <p style="margin: 0;">昔から「道庵坊主」といわれてきたこの辺りは、大きな転石（上から落ちてきた石）、岩盤の上を流れる滝、深い淵があり、昔から「山ノ中立」の子どもたちの夏の遊び場でした。</p> <p style="margin: 0;">山ノ中立は神越川の左岸の山の上にある戸数5戸の村です。南朝ゆかりのお姫様が数人の家臣を連れて逃げてこられ、住まわれたという言い伝えがあり、住人はその家臣の末裔といわれている。家臣の中に「道庵坊主」という僧がおり、その名がこの周辺についたといわれている。</p> <p style="margin: 0;">もみじ谷プロジェクト</p>

(2) 名勝「十二釜」紹介看板（案）

<h3 style="margin: 0;">神越溪谷の名勝「十二釜」</h3> <p style="margin: 0;">古くから「十二釜」といわれてきたこの滝は、ポットホール（甌穴＝流れる水で回転する石が岩盤に掘った穴）が連続してできています。かつては穴が12個あったのでしょうか。今は穴と穴がつながって、谷を垂直に削っています。少し下流には、できかけのポットホールが見られます。</p> <p style="margin: 0;">昔から、子どもたちは夏になると、温かい水のたまったポットホールに川遊びで冷えた体を入れて遊んだものです。また、ここは御内本郷と山ノ中立の二村が「雨乞い」をした場所でもあります。</p> <p style="margin: 0;">もみじ谷プロジェクト</p>

(3) 名勝「おせんさ淵」

神越溪谷の名勝「おせんさ淵」

「おせん」というおばあさんにまつわる話の残る淵で、山の中立の子どもたちが水泳場所にしていた所です。

かつては、水の澄んだきれいな淵で、下方に子どもたちが甲羅干しをする絶好の大石があったが、道路拡張のために割られてしまったということです。淵の上方はミニ「寝覚ノ床」と呼べそうな景観です。

もみじ谷プロジェクト

4 「神越溪谷の樹」紹介看板

2枚

神越溪谷の樹

この溪谷は、標高350m～1000mにあり低山帯から亜高山帯に及ぶ特徴ある樹が見られます。花をつける主なものを紹介します。

早春～ミヤマトサミズキ（コウヤミズキ）、ヤブツバキ、ミツバツツジ、エドヒガン、マンサク、アブラチャン、シロモジ、クロモジ、キブシ、タムシバ（ニオイコブシ）、フサザクラ、カツラ（新芽）

春～ヤマザクラ、ウワミズザクラ、カスミザクラ、ムシカリ、ガマズミ、ミヤマガマズミ、ヤマフジ、ヤマアジサイ、タマアジサイ、コアジサイ、ヤブウツギ、ウツギ、

夏～ユクノキ、ノリウツギ

秋～ヤマモミジ、コハウチハカエデ、オオモミジ、ヤマザクラ、シラキ（紅葉NO. 1）

もみじ谷プロジェクト

※ 次年度以降 神越溪谷の野草、神越の鳥、神越溪谷の魚などの紹介も考えています。また、それに関して、同好の者で樹や花、鳥を紹介するパンフレットなどの刊行もできたらと思っています